

【所属名：総務部 財政課】

【会議名：令和元年度第3回行政改革推進委員会】

会 議 録

作成日 令和2年3月6日

日	令和2年3月4日(水)	時間	10:00~11:30	場所	市役所2階 201、202 会議室
件名	(議題) 令和元年度推進項目の取り組み状況及び令和2年度実施計画について 令和元年度糸魚川市行政改革推進委員会の答申について				
出席者	【出席者】	齋藤 伸一(会長)、渡辺二三夫、北村 雄一、 藤原 克朗、早川 正明、木島 嵩善、八木 章(7人)			
	【欠席者】	池田 正夫、大貫 慶一、長谷川仁基、(3人)			
	【事務局】	総務部 山本部長 財政課 嵐口補佐、杉原係長 総務課 渡辺課長、大西補佐、塚田係長、 渡辺係長、			
	傍聴者定員		一人	傍聴者数	0人

会議要旨

1 開 会 (嵐口補佐)

2 会長あいさつ(齋藤会長)

3 議 題

(1) 委員アンケート結果について

行革推進委員のアンケートについて説明。

(質疑、意見は無かった。)

(2) 令和元年度推進項目の取り組み状況及び令和2年度実施計画について

事務局 ・7ページの一覧で、令和2年度は、新たな項目が3つ、一旦終了する項目が4つである。計18項目となる。

《推進項目1 市民目線に立った行政サービスの向上》

【説明内容】

No.1 申請用紙の効率改善

事務局 ・目標は、自書欄を除き、できる限り個人情報記入削減を図ることである。
・下半期は、各種用紙の内容を調査し、流れを把握した。
・今後は、本人確認方法の統一化や押印の省略化を検討するとともに、システムの活用についても検討する。

No.2 フロアごとの窓口改善

- 事務局
- ・上半期は、先進地視察や研修を行った。働き方改革と合わせ、当市でもデジタルツールの導入は必要と感じている。
 - ・毎年市民に窓口アンケートを行っている。本年度は窓口職員に意識調査を行った。
 - ・結果は市民が受ける感覚とはほぼ同じであり、窓口対応は良好であると考えている。
 - ・新年度は、カウンターなど物理的な改善や、来庁者向けのフロア導線を検討する。
 - ・市民にとって快適な窓口を目指したい。

【質 疑】 なし

《推進項目 2 民間委託・民営化の推進》

【説明内容】

No.3 学校給食調理等業務委託の検討

- 事務局
- ・民間委託料との差と、会計年度任用職員制度への移行による経費比較がポイントで、現状は民間委託料の方が若干高い。
 - ・なお、会計年度任用職員制度は、もう少し他自治体の状況を見なければならぬと考えており、場合によっては若干の見直しが想定される。
 - ・全体として民間委託への移行を進めるが、調整を図るべき事項があることから、引き続き行革として取り組んでいく。

No.4 図書館窓口業務の民間委託

- 事務局
- ・施設運営を維持する場合は、経費的に直営が妥当だとしている。
 - ・今後の方向としては、現状からすると直営という考え方になるが、今後の状況変化や本来の業務のあり方を含め、もう少し行革の中で検討する。

終1 ホール施設管理運営における外部委託等の検討

- 事務局
- ・採算性が低いホールは一括委託が非常に難しく、技術者が不足する業界事情であることが一因である旨、前回ご説明した。
 - ・本件は当面直営を維持することとしているが、その場合の4ホールの棲み分けを検討している。
 - ・民間への一括委託が難しいことから、当該項目は終了とするが、棲み分けの推進と合わせて、利用者の自主的・自律的なホール利用についても通常実務として継続する。

No.5 糸魚川市スポーツ協会の自主運営の強化とスポーツの振興

- 事務局
- ・協会専属の臨時職員を配置して1年半となる。
 - ・市職員の従事時間数削減は、臨時職員の慣れとともに増えてくる。
 - ・自主運営については、協会との協議が重要となる。

終2糸魚川市文化協会の自主運営の強化

- 事務局
- ・ 昨年同様、職員の従事時間数は削減し、安定化している。
 - ・ 行革の取組としては終了し、通常の事務の中で自立度合いを高める取組みを行っていく。

No.6 糸魚川市観光協会の自立と機能強化

- 事務局
- ・ 体制は整ったが、その先の取組を検討したいことから、計画期間を1年延ばし、令和2年度も販売促進、ワンストップサービスの強化、体制強化を計画している。

【質 疑】

(学校給食の異物調査について)

- 委 員
- ・ 異物混入については、直営でも民間委託でも課題となるだろう。
 - ・ 民間委託でのチェック等は、どのように行われる予定か。
- 事務局
- ・ 方法等は業者選定の過程で定まってくるが、チェック方法は重要なポイントと捉えている。
- 事務局
- ・ 現実的には、能生給食センターをベースに、より細かな方法を検討していくと考えている。

(学校給食の経理について)

- 委 員
- ・ 給食費の不祥事や還付の報道があったが、その後の状況はどうか。
- 事務局
- ・ 給食費は、過去の不祥事を踏まえ、特別会計を設置するなどの措置をとっており、現在の運用は適正である。
 - ・ 還付については、特別会計に移行する際の繰越金を整理する必要があったためである。

(4ホールのある方について)

- 委 員
- ・ 参考として、ビーチホールまがたまの利用率を教えてほしい。
 - ・ 利用率が悪い場合は、4ホールの統廃合を検討してほしい。
- 事務局
- ・ 利用率の資料は用意していないが、利用はある。なお、各施設において大規模修繕が発生する際は、4ホールのあり方等を検討することになる。(公共施設等総合管理指針)

(各協会の組織形態について)

- 委 員
- ・ 各協会が自立するにあたり、目指す組織の形態はあるか。
社団法人やNPO法人といった具体的案があるかどうか、という意味である。
- 事務局
- ・ スポーツ協会が法人を目指すかどうかは、今後の協議の中で話し合われる。
文化協会は、現状は自立する収益事業が無いことから、法人化等については見えない状況である。
- 事務局
- ・ 観光協会是一般社団法人となり、旅行業の資格を取得している。

《3 事務・事業の改善と変革》

【説明内容】

No.7 職員による行政事務・業務の改善及び提案

- 事務局
- ・職員提案は係単位で実施し、69の提案があった。
 - ・4つの提案を表彰し、改善が習慣付けられるよう工夫していく。
 - ・整理運動は、机やパソコンのデスクトップを整理するよう、数回にわたって取り組んだ。今後も、業務の効率化に繋げていきたい。

終3 嘱託員制度の見直し

- 事務局
- ・嘱託員制度が会計年度任用職員制度へ移行することができないため、県内状況を見ながら、地元への委託方式で進めてきた。
 - ・令和2年4月から委託方式へ移行することになり、項目を終了する。

No.8 タブレット端末の導入による事務の効率化

- 事務局
- ・議案や各種資料について、市議会議員へのデータ配付を開始している。
 - ・予算書など、紙ベースで配布している部分があり、ペーパーレス化の達成は、もう少し先だと認識している。
 - ・今以上の利用促進が必要ではないかと感じている。

No.9 RPA等の導入調査と事務の効率化

- 事務局
- ・RPAやAI-OCRを使い、大量処理業務を行うものである。
 - ・まず作業を最新技術で行うことで事務改善に繋げ、住民サービス向上のため、職員でなければできない企画立案等に力を向けたい。
 - ・事前の庁内アンケートで50項目が寄せられ、内容を精査して取り組んでいく。

【質 疑】

(タブレット端末について)

- 委員
- ・市議会ではタブレットを全員活用していると考えてよいか。費用対効果はどうか。
- 事務局
- ・費用対効果は、これから出てくる部分と考えている。
 - 利用については資料配布だけではなく、緊急的な事務連絡にも効果があり、そういった面では全員が使用していると言える。
- 事務局
- ・事務報告などの冊子類についても電子データで配布し、経費削減の効果があるほか、行政情報を適切に素早くお届けできるという点ではメリットが出ている。

(整理運動について)

- 委員
- ・整理運動の一環として、ホームページを整理してはどうか。
 - ・ちなみに作成の担当部署はどこになるのか。
- 事務局
- ・ページ作成や更新は所管課が行っているところであるが、年1回は見直すよう総務課において注意喚起している。

(職員提案のフォローについて)

- 委員 ・受賞が人事考課に反映するとか、受賞係長が取組項目の責任者になるとか、意欲を引き出す受賞後のフォローがあっても良いと思う。
- 事務局 ・本年度は、1月5日の仕事始めの式に表彰を行い、受賞提案には市内カタログギフトを副賞とした。
- 事務局 ・行革事務局としては、受賞項目を真似し、取り込んでみることも重要だと考えている。普及方法を考えたい。
- 委員 ・市役所も改善に取り組んでいるというところを、広報などでアピールしてほしい。

(RPAについて)

- 委員 ・RPAの実際の使い方について、イメージを教えてほしい。
- 事務局 ・1つの端末にRPAのソフトが入り、その端末でワードやエクセルはもちろん、基幹システムなど、各種のソフトウェアを乗り越えて作業ができる。
 - ・空いている時間に、共同で使用するイメージである。
 - ・令和元年度に、総務課で試験的に集計業務を行った。
 - ・90時間を要していた業務が6時間で済み、効果を感じている。
- 委員 ・改善を進め、その後のチェックをしっかり行っていただきたい。

《4 公共施設の総合的かつ計画的な管理》

【説明内容】

No.10 公共施設等総合管理指針の評価と実践

- 事務局 ・初期段階として、主要な176施設の評価を行い、マネジメントグループによる二次評価35施設を行い、検討や改善を指示した。
 - ・施設カルテは課題を共有しやすく、引き続き実施する。

No.11 公共施設等総合管理指針の改訂

- 事務局 ・指針は、5年毎に見直すこととしており、個別計画、施設カルテの作成状況、及び諸情勢の変化を指針に反映し、来年3月末の改訂を計画している。

No.12 施設使用料改定のあり方検討

- 事務局 ・令和元年度に、消費税改定に伴う使用料改定を行った。
 - ・周辺自治体では、3年ないし5年ごとに見直しを行うなど、定期的に諸情勢の変化を捉えて見直し検討を行っている。
 - ・当市における使用料改定の時期、方法及び減免基準のあり方について、公共施設等総合管理指針の改訂の中で、方針を定めるものである。

【質 疑】

(予約が無いときの施設使用料について)

- 委 員 ・ 例えば、総合体育館へ行ったとき、たまたま大体育館が開いていたとして、個人が使用したい時の料金はどうか。
- ・ 空いていた場合の減額規定があるか知りたい。
- 事務局 ・ 個人であっても料金は変わらないものである。
- 委 員 ・ この場合、スポーツ協会が使用すると半額になるのだから、空いている場合の個人使用料について研究していただきたい。
- ・ 使ってもらった方が、市の収入になる、という考え方である。
- 事務局 ・ 検討の中で、研究したい。

《5 健全な行財政運営》

【説明内容】

終4 受益者負担の適正化

- 事務局 ・ 本年度、消費税改定に伴う使用料改定を行うこととし、12月市議会定例会で議決いただいた。
- ・ 令和2年4月1日から新料金になることから、現在は市民周知を行っている。
- ・ 今後は、先ほどの項目によって、定期的な見直しを行う予定である。

No.13 補助金・負担金の適正化

- 事務局 ・ 補助金や負担金は、予算査定等を行う中で、各補助金や交付先団体の繰越金などをチェックしている。
- ・ 補助の性質はそれぞれ異なるところであるが、一定の見方で確認したいため、令和2年度は補助金カルテを作り、適正化を進めていく。

No.14 上水道料金の新たな料金体系の構築

- 事務局 ・ 水道料金あり方検討委員会を2回開催し、水道事業の現状を説明した。
- ・ 来年度は、料金の改定案を提案し、ご意見をいただく予定である。

【質 疑】 なし。

《6 職員の意識改革と効率的で質の高い組織運営》

No.15 内部監査制度の強化と業務監査の実施

- 事務局
- ・今年度の内部監査は、整理運動、時間外勤務の削減、車検切れの再発防止の観点を中心事項として実施した。
 - ・また、内部監査委員の養成として、先進企業視察と意見交換を行った。
 - ・内部統制は、同規模の自治体での導入事例が無いことから、当面、この内部監査の強化に取り組んでいく。

No.16 職員の地域活動への積極的参加

- 事務局
- ・あらゆる機会を通じ、地域活動や各種団体活動の積極的参加を呼びかけている。
 - ・本年度の自己申告書により参加状況を集計したところ、本年度は地域活動への参加が2.4%増であった。
 - ・特に若い職員への呼びかけを心掛けている。

No.17 職員研修による資質向上

- 事務局
- ・例年の階層別研修、各種専門研修等への参加のほか、財政課と協力して財務研修を行った。
 - ・また、選挙事務研修など、必要に応じて実施した。
 - ・今後は、働き方改革に繋がる研修を行いたい。

No.18 行政改革意識の向上

- 事務局
- ・「行革情報」とし、10回発行した。
 - ・整理運動、職員提案、内部監査等と連動して編集した。
 - ・来年度は、各課からも参加してもらいながら作成したい。

【質 疑】

(地域活動参加の定義について)

- 委員
- ・職員の地域活動参加の定義はどうか。
- 事務局
- ・地域の運動会や懇親会を含め、積極的に参加すること目的としているので、1回でも参加した者をカウントしている。

《個別計画》

事務局 ・ 実施計画書案により説明。

糸魚川市子ども・子育て支援事業計画

糸魚川市長期財政見通し

糸魚川市公共下水道事業、集落排水・浄化槽事業、ガス事業、簡易水道事業、水道事業経営戦略

糸魚川市定員適正化計画

【質 疑】 なし。

(3) 令和元年度糸魚川市行政改革推進委員会の答申について

【説明内容】

事務局 ・ 答申案を朗読。

会 長 ・ 本年度の答申は、昨年と同様、文書を届ける形式で答申したい。

【質 疑】 なし。

【結 果】 異議なく、提案のとおり承認された。

4 その他

【説 明】

事務局 ・ 令和2年度の行政改革推進委員会は、新規項目があることから、正副会長と相談したうえで、6月から8月の間で開催したい。

【結 果】 異議なく、そのように進めることとなった。

5 閉 会（嵐口補佐）